

# 新・白銅通信

Shin Hakudo Tsushin vol.11

2019年8月

白銅 新商品・新サービスのご紹介

## 7204(旧7N01)切板を販売開始!

2019年9月中旬より、7000系溶接構造用合金“7204(旧7N01)切板”を販売開始予定です。下記の一覧表の通り、ご要望のサイズでお届けします。ぜひ、ご利用ください。

### <商品の特徴>

- 強度が高く、溶接部の強度が常温放置により元の強度に近いところまで回復
- 耐食性良好

### <用途>

- 溶接構造用
- 車両、航空機

### <在庫ラインナップ>

板厚(ミリ)	新材寸法 巾×長さ(ミリ)	板厚公差(ミリ)	調質	製造方法	保護ビニール	在庫工場
30	1250×2500	±1.0	T6	熱間圧延	なし	神奈川工場
60	〃	±1.9				
80	〃	±2.8				
100	〃	〃				
120	〃	±3.2				
150	〃	〃				
200	〃	±4.1				



### 本件に関するお問い合わせ先

東日本お客様センター TEL: 044-955-8910 FAX: 044-966-9310 E-mail: eordertoubu@hakudo.co.jp  
 西日本お客様センター TEL: 06-6885-8910 FAX: 06-6101-8910 E-mail: eorderseibu@hakudo.co.jp  
 特注品お客様センター TEL: 03-5223-8912 FAX: 03-5223-8923 E-mail: rhf@hakudo.co.jp



高瀬アルミオフィスにて、社長を囲んで…



アルミ材を豊富に在庫

新オフィスで働く社員たち

本年2月15日、アルミの販売を専門とする高瀬アルミが、白銅の連結子会社になった。新たなスタートを切った同社社長、および副社長が抱負を語る。



高瀬アルミが入るお茶の水伊藤ビル

高瀬アルミが白銅のグループ会社により、事業の整備・拡大により、一層のサービス向上を図ります。

### 白銅と高瀬アルミの得意分野を補完し合うシナジー効果に期待

高瀬アルミはアルミ薄板、アルミ丸棒、アルミ形材を主に扱っており、特にアルミ薄板に強みを持っています。お客様としては東京都内の流通業者がメインとなり、一部、東北エリア、北関東エリアのお客様にも販売しています。一方、白銅はアルミ厚板を中心に、伸銅、ステンレスなど取扱品目が豊富で、切断・加工などにも長けています。それぞれの得意分野が違っていただけに、今回の高瀬アルミの完全子会社化によって、最大限のシナジー効果が発揮できると確信しています。今後は高瀬アルミにとって



岩田龍一 代表取締役社長

は今まで扱っていたアルミ厚板やその他の素材、加工サービスを既存のお客様にお届けできますし、白銅にとってはアルミの在庫ラインアップを充実させることができるとともに、高瀬アルミのお客様を通じてアルミ以外の素材を提供することができるようになります。

### 6月にオフィスを移転したのを機に管理システムの整備にも着手

高瀬アルミは6月にオフィスを千代田区神田駿河台に移転したばかりです。長い間白銅で勤務してきた身からすると、高瀬アルミはアナログの部分が多いように思います。白銅の子会社化となったのを機に、業務の管理システムを見直し、業務のデジタル化など、白銅のシステムで導入できる部分は取り入れながら効率化を図っていくつもりです。将来的にはアルミ薄板に強い高瀬アルミの利点を活かしながら、定尺のみならず、薄板の加工機能を加えることができたかと思っております。



森兼耕次 副社長

## 編集後記

5月には出身地の北海道で早くも猛暑日になるなど、驚くニュースがありました。ところが、なかなか梅雨が明けず、日照不足に悩まされる夏の始まりとなりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか? 立秋を過ぎたとはいえ、暑い日が続きますのでご自愛ください。

新カタログの発刊から1カ月で、約300件のお問い合わせをいただき800部以上発送させていただきました。誠にありがとうございました。さらに有益な情報をお伝えできるように努めてまいりますので、今後よろしくお願いいたします。(近藤)

## 白銅からのお知らせ

### 展示会出展のお知らせ

2019年10月2日(水)〜4日(金)、インテックス大阪にて開催される「関西機械要素技術展」に出展します。

展示会ご来場を希望の方はお気軽に営業担当もしくはお客様センターまでご連絡ください。

招待券をお渡しします。

### お便りをお待ちしております

たします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

白銅通信やカタログの感想、また白銅への叱咤・激励、ご要望など何でも結構です。皆様からのお便りをお待ちしております。



私と白銅

半導体・液晶製造装置の基幹部品を提供し、高度技術でお客様の「困った」を解決したい。

● 株式会社マルマエ 代表取締役社長 前田 俊一



前田俊一代表取締役社長

**半導体、液晶製造装置の部品に強みを持つ加工メーカーに成長**

弊社は昭和40年（1965年）に個人経営の鉄工所としてスタートしました。その後、昭和63年に有限会社として法人化、平成13年には株式会社マルマエに組織変更し、真空パーツ・マシニング・門型加工の専門メーカーへと事業を拡大してきました。現在は、半導体やFPD（フラットパネルディスプレイ）の製造装置の基幹部品の製造、特に真空パーツや高精度部品の製造を得意としています。

す。おかげさまで、東京工レクトロン様など、世界トップクラスの製造装置メーカーにご利用いただいています。そのほか、レース用オートバイ、発電用タービン、防衛庁向け、医療装置、産業用ロボットなどの各種部品も製造しています。

**白銅のアルミ材の豊富さとニーズに応えてくれる営業力に期待**

私は平成4年に起業し、オートバイの部品を製造する会社を営んでいました。材料の調達に苦労していたところ、ちょうど白銅の営業マ

ンが飛び込みで来られました。その後、父が経営するマルマエ工業と経営統合し、金属加工、製造装置部品等の生産を柱に事業展開するにつれ、白銅さんとの取引も増加してきました。強度があり、複雑な形状が求められるオートバイ用部品にはAP2000が最適でした。また、半導体関連の部品製造にはYH52といった高精度プレートが適しています。白銅さんはこうしたアルミ材を幅広く扱われているので助かります。白銅さんは厚板の取り扱い規模が大きく、メー



本社・出水事業所内工場

弊社は今年2月に本

カーとの交渉力があります。ですから、特殊なオーダーに対しても、営業と直接相談しながら対応してもらえるので頼りにしています。とにかく、弊社のことをよく理解してくれ、こちらの要望に添えてくれます。オートバイレーサーの経験を活かし、技術面でアドバイスも事業と直接関係はありませんが、スパーカーブ系エンジンで世界最速記録を目指すプロジェクトS.M.C（スーパーミニマムチャレンジ）を技術面でアドバイスしています。私は以前、オートバイのレーサーとして各地のサーキットを転戦していたことがありますが、そうした当時の経験を踏まえて、チームの役に立てればと思っています。8月に、アメリカのソルトレイクで競技会が開催されるので、応援に駆け付けつつもりです。



本社社屋外観

● お客様ご紹介 株式会社マルマエ

〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地  
TEL: 0996-68-1150 (代)

半導体や液晶、太陽電池の製造装置の基幹部品の製造、特に真空パーツメーカーとしての地位を確立。また、産業および医療機械器具の設計・製造・販売、VE（バリューエンジニアリング）提案等の開発支援から大型・複雑形状の一貫生産も手掛ける。平成30年11月、鹿児島県に本拠を置く企業として唯一、東証一部上場を果たした。

社を現在地に移転し、出水・高尾野・関東（埼玉）の3事業所体制で事業の拡大を図っています。これまで培われた技術を活かし、少しでも多くのお客様の「困った」を解決していきたい。もちろん、白銅さんとは今以上にコミュニケーションを密に、細やかな対応を期待したいと思っています。

知っていると便利!お役立ち情報: アルミニウム合金の特徴をご紹介します!

アルミニウム合金は、主要添加元素によって特性が変化し、1000系から7000系で分類されています。一般的な特徴について、一覧表でご紹介いたします。材料選定のご参考にしていただければ幸いです。

アルミニウム合金の種類	特徴	主な白銅商品
1000系 (アルミニウム)	純度99.0%以上の純アルミニウム系合金で、加工性・耐食性・溶接性に優れるが強度は低い。強度を要しない電気器具や日用品に多く用いられるほか、熱伝導性にも優れるため放熱材としても多く用いられる。	A1050切板、1070丸棒 など
2000系 (アルミニウム-銅系合金)	銅を添加することで強度・切削性を向上させた合金。特に強度に関しては鋼材に匹敵する高いものになるが、その反面、耐食性・加工性・溶接性は低くなる。主に強度が要求されるねじ類・ギヤ部品・航空宇宙機器部材等で幅広く使用される。	ハイスベック2017切板、24S丸棒 など
3000系 (アルミニウム-マンガン系合金)	マンガンを添加することで純アルミニウムの加工性や耐食性をそのままに強度を向上させたもの。マグネシウムを添加することにより、さらに強度を増加させることができる。主に飲料用アルミ缶ボディ・ドアパネル材等の用途で使用される。	
4000系 (アルミニウム-ケイ素系合金)	シリコンの添加により熱膨張を抑え、耐磨耗性を向上させたもの。さらに銅・ニッケル・マグネシウム等の添加により耐熱性を向上させ、鍛造材として用いられる。ピストン・シリンダヘッド・建築パネル・溶接線等の用途で使用される。	
5000系 (アルミニウム-マグネシウム系合金)	マグネシウムを添加して強度と耐食性を向上させた合金。マグネシウム添加量の比較的小さいものは裝飾用や器物用に、多いものは構造材として使用され、合金の種類が多いのが特徴。中程度のマグネシウムを含有するものとしてはA5052が代表的で、アルミ合金全体の中で中程度の強度を持つ最も一般的な材料となっている。汎用性が非常に高い合金で、一般建築材料・機械部品・船舶・設備治工具など幅広い用途で使用される。	YH52切板、5056押出丸棒 など
6000系 (アルミニウム-マグネシウム-ケイ素系合金)	マグネシウムとシリコンが一定の含有比で添加された合金。強度・耐食性共に良好で、押出し加工性に優れており、構造用材として用いられる。建築用サッシ・ガードレール・船舶・車軸・陸上構造物等の用途に使用される。	YH61スーパー切板、63Sアングル など
7000系 (アルミニウム-亜鉛-マグネシウム(-銅)系合金)	亜鉛とマグネシウムを添加した合金で、全アルミ合金中最も高い強度を誇る。7000系合金は最高強度を持つAl-Zn-Mg-Cu系合金と、溶接構造用鋼のAl-Zn-Mg系合金に大別される。Al-Zn-Mg-Cu系合金の代表的なものがA7075で、航空機・スポーツ用品等に使用されている。Al-Zn-Mg系合金の代表的なものはA7204 (旧7N01) で車輪・陸上構造物等に使用される。	YH75切板、YH75丸棒 など

※参考: アルミニウムハンドブック第7版

白銅ネットサービスのロゴができました。



Hakudo Net Service

すでに半数以上のお客様にご利用いただいている「白銅ネットサービス」のロゴデザインができました。皆様に親しまれている白銅の「白」の字をアレンジしたシンボルマークを基調に、Wi-Fiの

ピクトでも見られるアンテナや地球を加え、ネットサービスらしさを表しました。英文字の書体は、社名ロゴのデザインの特徴を反映させることで統一感を出しています。

**貴社の商品をご案内**  
**白銅ネットサービス上に掲載してみませんか!**  
**お問い合わせをお待ちしています。**

白銅ネットサービスはおかげさまで登録品目サイズ数が12,000を超え、ご利用企業様も5,000社に達しています。最近はお客様から「自社製品を白銅のサイトを通じて販売したい」と希望され、実際に参画されるケースが増えました。ぜひ、貴社も販路拡大のため弊社の白銅ネットサービスにご参画ください。

白銅株式会社

営業企画部 営業企画課  
TEL: 03-5223-8916 FAX: 03-5223-8925 E-mail: eigyokikaku@hakudo.co.jp